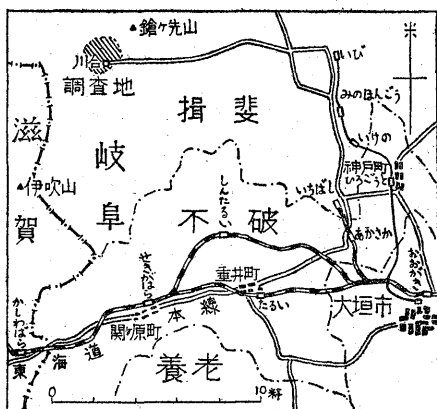


雑 報

岐阜県春日村地方の石灰石・苦灰石鉱床調査報告

伊吹山石灰石鉱床地帯調査の1部として岐阜県揖斐郡春日村地方の石灰石鉱床調査を行つた。本地区は揖斐郡の南西端、粕川と、白川の合流点附近に当る。交通は東海道線大垣より近鉄揖斐に達し、バスまたはトラックで西方11kmで春日村川合に至り、そこから白川まで2km、中山まで1km、ともにトラックを通ずる。



第1図 位置図

本地域は伊吹連山の北東、海拔300~600mの附近にあり、地質は古生層およびこれを貫く花崗岩ならびに玢岩類岩脈等よりなり、河岸段丘の礫層、および灌漑の発達がある。古生層は、砂岩・粘板岩・チャート・石灰岩で

走向はEW, 55~60°Sの傾斜を示し、北方の花崗岩と接する部分はホルンフェルス化している。花崗岩は両雲母花崗岩で、地域北部を広く占めている。岩脈類は輝綠玢岩質岩脈・粒状玄武岩質岩脈等がある。

断層は南北性のものが多数発達するが、断層により移動の量は比較的少ない。

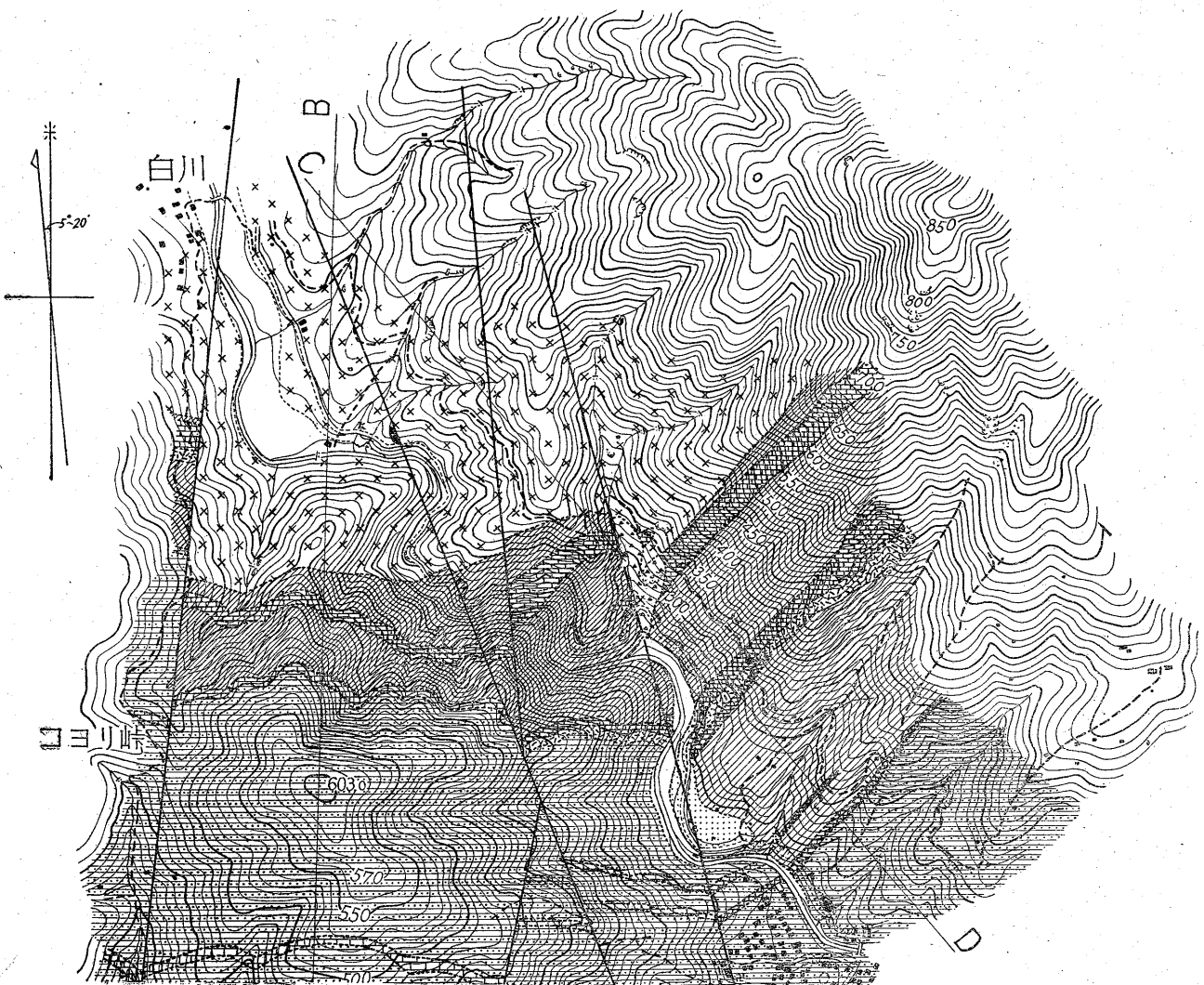
石灰岩は数條あるが20~40mの薄層で、花崗岩に近い所では結晶質である。極めて苦灰石質で品位が一定せず、石灰石鉱床としての稼行価値は乏しい。

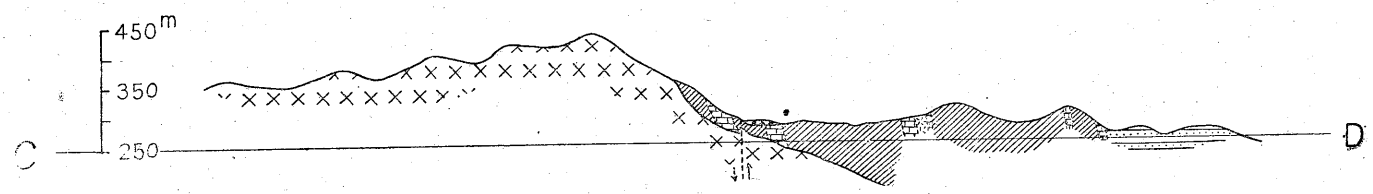
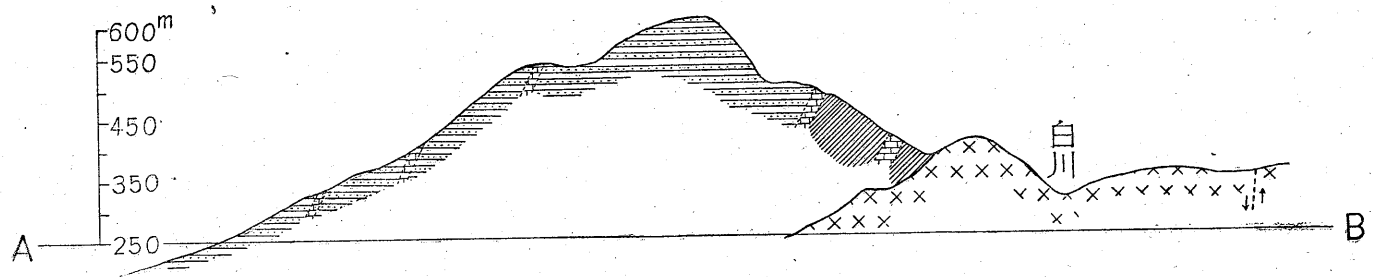
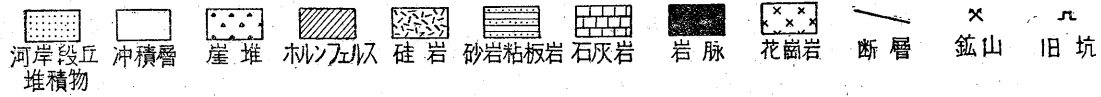
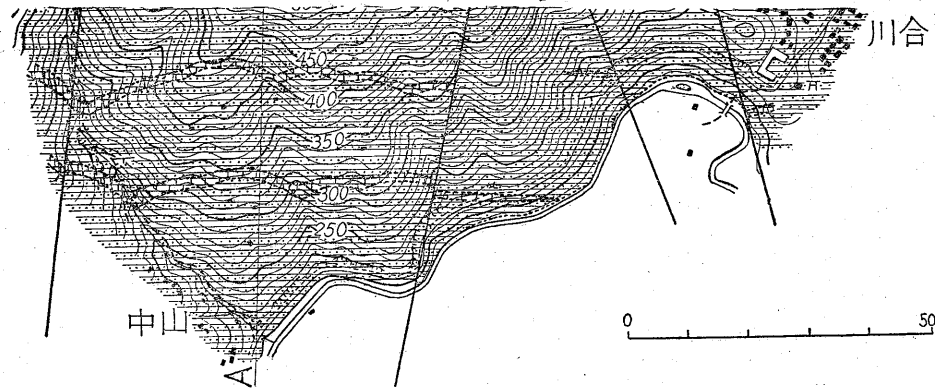
石灰岩中に小規模の苦灰石鉱床の発達があり、これらは不規則型または石灰岩層と平行の層状をなし、品位も一定しないが、良質部はMgO 17~20%, FeO 0.3~0.7%程度の良質鉄である。鉄石は堅硬質緻密、晶質で特に良好部は淡紅色を呈し光沢が強い。

現在3カ所の鉄体が確認され、1カ所十数万t、全体で数十万tに及ぶ鉄量が期待される。

岐阜県赤坂町 清水工業により開発され、月産850t、硝子工業用として大阪、四日市方面へ出荷している。

(大塚寅雄)





第2図 岐阜縣掛斐郡春日村附近地質図および地質断面図